

## 復興施策の総括に関する質問・意見一覧表

令和 2 年 11 月 6 日 時点

## ○ 全般

No.	内 容	備 考
1	<p><b>【質問】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>復興計画の全般的な進捗状況をわかりやすく「見える化」することは可能でしょうか。</li> </ul> <p><b>【回答欄】</b> (政策推進課)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>復興計画事業について、完了事業と継続事業に区分してお示してきましたが、令和 3 年度以降も継続する事業について、進捗状況を「順調」、「やや遅れあり」、「停滞」の 3 段階に区分するなど、全体的な進捗状況を明確にする方法を検討し、第 3 回委員会でお示しいたします。</li> </ul>	
2	<p><b>【質問】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>復興計画に対するコロナ禍での影響を把握することは可能でしょうか。また、すでにコロナ対策を講じている事案を現時点で公表は可能でしょうか。</li> </ul> <p><b>【回答欄】</b> (政策推進課)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、市総合防災訓練や水産加工品展示商談会が中止となったほか、心身の健康支援のための被災世帯訪問について、アンケート送付による状況把握に変更するなど、一部事業において実施内容の見直しをしております。また、新しい活動として、オンラインを活用した移住相談や企業立地相談、海外バイヤーとの商談会などを実施しております。</li> <li>コロナ対策を講じている事案としましては、市税等の減免や事業者向け支援金の支給のほか、飲食店やイベント等における新型コロナウイルス感染症の拡大防止につながるメール送信サービスの提供、新型コロナウイルス検査センターの設置などを行っております。(別紙参照)</li> <li>今後は、避難所における感染拡大防止を図るためのマスク、消毒液、テント等の確保や、市民病院の病棟改修や医療機器の整備等による新型コロナウイルス陽性患者の受入体制の強化などを進めていく予定としております。</li> </ul>	
3	<p><b>【質問】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>資料 3 の八戸市の被害総額は約 1213 億円であるのに対し、参考資料 2 の平成 23 年度から令和元年度までの八戸市復興事業歳出決算額は 774 億円となっています。両者は単純に一致する必要は無いと思いますが、事業費が低いとまだ達成していない部分があるのではと思ってしまう。復興は、技術等の推移により事業の低廉化などが進み、ほぼ達成していると考えてもいいのでしょうか。</li> </ul> <p><b>【回答欄】</b> (政策推進課)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>八戸市復興事業歳出決算額の 774 億円は、市の復興計画に位置付けられた復興事業に対する市の歳出決算額の合計額となります。港湾や道路の整備など国・県が実施主体である復興事業では、国・県が事業費を支出しておりますが、774 億円には含めていないことから、被害総額との差が大きくなっているものであります。</li> <li>復興事業につきましては、国の特例的な財政支援を活用しながら、県・市・民間が連携して取り組んできており、着実に進展しているものと考えております。</li> </ul>	

## 1. 被災者の生活再建

No.	内 容	備 考
4	<p><b>資料 5 復興施策の総括：P10(1)生活支援の充実</b> <b>意見</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後おこりうる大災害においても、り災証明書の早期発行や各種支援制度のワンストップ受付が可能となるよう、IT化を図り、体制を構築しておいていただきたい。</li> </ul> <p><b>【回答欄】</b> (住民税課)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・り災証明書を迅速に交付できるよう、り災証明書管理システムの導入について検討を進めております。</li> </ul> <p>(防災危機管理課)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・被災者に対してり災証明書の発行や各種支援制度の案内を円滑に行えるよう、被災者支援システム導入の検討を進めるとともに、支援に関するワンストップの相談窓口を早期に開設できる体制づくりに努めて参ります。</li> </ul>	
5	<p><b>資料 6 復興施策シート：P21 No.02</b> <b>質問</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「公営住宅等の提供」の項目において、一時入居期限を迎えた被災者についてのその後のフォローについて教えて下さい。p. 27 の No. 12 にある「被災者定着促進事業」などで対応されたのでしょうか。</li> </ul> <p><b>【回答欄】</b> (建築住宅課)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一時入居期限を迎えた被災者については、次のような対応をいたしました。 <ol style="list-style-type: none"> <li>1 市営住宅・県営住宅への入居を希望した方については、特定入居（公募によらない一般入居）への移行</li> <li>2 市営住宅・県営住宅へ特定入居した方及び被災者ご自身で民間賃貸住宅に転居した方で要件に該当する場合には、被災者定着促進事業・賃貸住宅定住補助金で移転費用等を補助</li> <li>3 被災住宅を再建する方で要件に該当する場合には、被災者住宅再建支援事業、被災者定着促進事業・住宅再建補助金で住宅の再建費用や被災者住宅再建支援制度利子補給補助金で金融機関等からの借入金に係る利子相当額を補助</li> </ol> </li> </ul>	
6	<p><b>資料 5 復興施策の総括：P10(2)住宅確保の支援</b> <b>意見</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大規模災害に備え、被災者の希望により民間の宿泊施設を一時入居住宅として利用できるような協定の締結などを検討してはどうか。(被災者は居住地に近い場所で一時入居住宅が確保できるとともに、民間の宿泊施設の利用促進と経済的活性化にも繋がる)</li> </ul> <p><b>【回答欄】</b> (防災危機管理課)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・要配慮者の宿泊施設への避難支援が円滑に実施できるよう、青森県が青森県旅館ホテル生活衛生同業組合と「災害時における宿泊施設の提供等に関する協定」を締結しております。災害時には県と連携し、これらの民間宿泊施設を活用して参ります。</li> <li>・また、市でも現在、避難所としてホテル等の民間施設を活用できるよう、施設管理者等と協議を行うなど、避難所の拡充を検討しております。</li> </ul>	

No.	内 容	備 考
7	<p data-bbox="225 181 564 215"><b>資料 5 復興施策の総括：P3</b></p> <p data-bbox="225 226 288 259"><b>質問</b></p> <p data-bbox="225 271 1299 383">・有効求人倍率が、平成 21 年度に 0.28 倍であったものが、令和元年度は 1.55 倍と、倍率が 5 倍程伸びています。これは、景気の回復、労働人口の流出などがあると思いますが、主要因はどのようなものと考えられるのでしょうか。</p> <p data-bbox="225 394 352 427"><b>【回答欄】</b></p> <p data-bbox="225 439 405 472">(産業労政課)</p> <p data-bbox="225 483 1299 640">・有効求人倍率の上昇要因は、求人数の増加と求職者の減少の両面があり、震災直後は景気回復に伴う求人要因の影響が大きかったものの、近年は求職要因の影響が大きいものと認識しております。求職者減少の背景として、生産年齢人口の減少や若年世代の流出などが挙げられます。</p>	
8	<p data-bbox="225 651 820 685"><b>資料 5 復興施策の総括：P10(3)雇用対策の強化</b></p> <p data-bbox="225 696 288 730"><b>意見</b></p> <p data-bbox="225 741 1299 898">・新型コロナウイルス感染症の状況を見るに、八戸市のような地域では東京都に比べてソーシャルディスタンスを取りやすく、感染が拡大しにくい環境にあり、魅力にもつながる可能性があります。学生・生徒にとって地元就職や若手人材の地元定着に資する取組の強化は時期を得たことと思います。</p> <p data-bbox="225 909 352 943"><b>【回答欄】</b></p> <p data-bbox="225 954 405 987">(産業労政課)</p> <p data-bbox="225 999 1299 1155">・新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、学生の中央志向や、首都圏から地方への UIJ ターンに対する意識に変化が生じることも考えられるため、地元企業の認知度や採用力を高めるセミナーの開催や、移住に関する支援金制度の効果的な活用を通じて、若者の地元定着や UIJ ターンの促進に取り組んで参ります。</p>	
9	<p data-bbox="225 1167 820 1200"><b>資料 5 復興施策の総括：P10(3)雇用対策の強化</b></p> <p data-bbox="225 1211 288 1245"><b>意見</b></p> <p data-bbox="225 1256 1299 1368">・震災以降、諸施策も奏功し雇用環境は順調に改善してきましたが、コロナ禍で再び悪化していると報道されています。今までの諸施策の継続とともに新たな施策も必要と思われます。</p> <p data-bbox="225 1379 352 1413"><b>【回答欄】</b></p> <p data-bbox="225 1424 405 1458">(産業労政課)</p> <p data-bbox="225 1469 1299 1671">・新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、全国的に雇用情勢は悪化しており、市では労働者の雇用を維持するため、本年 4 月から、国の雇用調整助成金の申請に係る社会保険労務士の事務手数料を補助し、中小事業者の支援に努めています。今後とも、地域の雇用情勢を見定めながら、国・県等と協調して、地域経済の回復と雇用の維持に努めて参ります。</p>	

No.	内 容	備 考
10	<p>資料 5 復興施策の総括：P10(3) 雇用対策の強化</p> <p>意見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>働きやすい労働環境の構築のため、企業における雇用環境（働き方・休み方）や労働基準法（36 協定の届出）の遵守状況、一般事業主行動計画の策定状況を調査し実態把握をすることが必要です。</li> <li>その結果を検証し改善していくことが、女性の雇用環境の変化をもたらし、結果として、八戸市の活性化や人口増につながっていくと思います。</li> </ul>	
	<p>【回答欄】</p> <p>（産業労政課、市民連携推進課）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>企業における労働基準法の遵守状況や、次世代育成支援対策推進法及び女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画の策定届の受理及び実態把握につきましては、青森労働局が実施しております。実態把握に関する本市との情報共有につきましては、一部を除き個人情報保護等の観点から難しい状況にございますが、市といたしましては、引き続き青森労働局や県など関係機関と連携を図りながら、各種取組の周知を行い、女性活躍の支援に努めて参ります。</li> </ul>	

## 2. 地域経済の再興

No.	内 容	備 考
11	<p>資料 7 復興施策の総括：P1</p> <p>質問</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>八戸港水揚げ高が、平成 23 年に比して令和元年が 50%に減少していますが、水温等気象条件に依存するものと考えて宜しいでしょうか。</li> </ul>	
	<p>【回答欄】</p> <p>（水産事務所）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>委員お見込みのとおりと考えています。</li> <li>加えて、アルゼンチン、ペルー、ロシア等の海外漁場での漁獲が少なくなったことも影響しているものと考えています。</li> </ul>	
12	<p>資料 8 復興施策シート：P1</p> <p>質問</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>水産業の再興について現時点での主な課題と対策をお知らせください。</li> </ul>	
	<p>【回答欄】</p> <p>（水産事務所）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①資源の減少、②担い手不足、③消費者の魚離れによる魚価の低迷が大きな課題と考えております。</li> <li>①については、つくり育てる漁業の導入。②については、労働環境の見直し。具体的には、土日祝祭日の休暇の導入。漁船の快適な居住空間の確保等。③については、消費者の健康志向への更なる喚起。骨なし加工品など手軽な食材開発。衛生管理面により既製品との差別化を魚価へ反映させること、などが対策として考えられます。</li> </ul>	

No.	内 容	備 考
13	<p><b>資料 7 復興施策の総括：P11(1)水産業の再興</b> <b>意見</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・荷捌き所D棟の整備が進んでいますが、東京築地市場のように仲買（仲卸）と場外市場を併設し、新第二魚市場として整備することで、地域や県内外の住民の利用が促進され、観光客の誘客や利益確保にも繋がり、水産業と観光面の活性化が図られるのではないかと思いますがいかがでしょうか。（湊の朝市は毎週日曜日である中、魚市場は平日稼働しています。）</li> </ul> <p><b>【回答欄】</b> (水産事務所)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・八戸魚市場は、これまで産地市場としての役割を担い、消費者のためには、市営魚菜小売市場、八食センターがあり、今や八戸の観光スポットの一つとなっております。さらに、最近では館鼻地区に漁協直営の「みなとっと」、蕪島には「かぶーにゃ」も建設され、観光客は、D棟の見学と合わせて回遊していただくことを期待しております。</li> </ul>	
14	<p><b>資料 7 復興施策の総括：P11(1)水産業の再興</b> <b>意見</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の特産としての魅力があることから、将来の販路・市場の拡大に向けて尽力をお願いします。</li> </ul> <p><b>【回答欄】</b> (水産事務所)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度、水産加工品の出口戦略として、「八戸市水産物ブランド戦略会議」を立ち上げ、その第一段階として、八戸ワインにあうサバをコンセプトにした加工品開発について有識者からアドバイスを受け、将来の販路・市場の拡大に向けた取組の一つにと考えております。</li> </ul>	
15	<p><b>資料 7 復興施策の総括：P11(2)農林畜産業の再興</b> <b>意見</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域として「食」を自給できることは地力の強化にもなり望ましいと思いますので、農業経営体の育成や農業生産の促進をお願いします。また、港湾が飼料輸入の物流基地として機能していることから、畜産関連企業の誘致・集積などの取組をお願いします。</li> </ul> <p><b>【回答欄】</b> (農業経営振興センター)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度から創設予定の、既存農業経営者や法人の事業継承を支援する国の新たな制度を活用するなど、サポート体制の充実強化に努めて参ります。</li> </ul> <p>(産業労政課)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・八戸港や高速交通網などの充実した物流インフラを背景に、当市には飼料産業や物流関連企業の集積が高まっております。今後とも、地域への経済波及効果の高い産業分野に重点を置きながら、企業誘致に向けて取り組んで参ります。</li> </ul>	

No.	内 容	備 考
16	<p><b>資料 7 復興施策の総括 : P11(2) 農林畜産業の再興</b> <b>意見</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農業の担い手育成において、新規就農者支援のみならず既存の農家を引き継ぐあるいは農家で作業員を雇用する、農業インターンシップを実施するなど、関係団体と連携し就農に向けた新たな取り組みを進める必要がある。</li> </ul> <p><b>【回答欄】</b> (農業経営振興センター)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 担い手の減少と高齢化に関する対応策として、国の制度を活用し、融資を受けた際の金利負担軽減措置、農業用機械等の購入に対する支援措置、及び新規就農者への最大 150 万円を最長 5 年間交付する資金の交付等の支援措置を講じています。また、生産から販売までの一体的な担い手支援体制を構築し、関係機関で構成するサポートチームが経営、技術、資金、並びに農地に関する相談対応を実施して参ります。</li> </ul>	
17	<p><b>資料 7 復興施策の総括 : P11(3) 企業活動の再興</b> <b>意見</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 被災事業者への自立を促すべく、金融支援や販路拡大・技術力向上への支援などの継続をお願いします。併せて、社会の変革に対応していくには、地域への新たな企業進出を促すことも肝要であり、新技術など次の世代の経済価値を産むような企業の誘致と受け皿となる産業団地の整備推進をお願いします。</li> </ul> <p><b>【回答欄】</b> (商工課)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 金融支援に関しましては、震災において直接被害（主要な事業用資産が全半壊または流出したもの）に遭われた方々の支援としまして、平成 22 年度～平成 23 年度に青森県経営安定化サポート資金特別保証融資制度内に設けられた「災害復旧枠」の利用に際して、その資金借入に係る利子及び信用保証料を県及び市の負担にて全額補給しており、全ての融資の償還が完了する令和 8 年度まで支援を継続していく予定であります。</li> <li>・ 販路拡大・技術力向上への支援に関しましては、市では、中小企業振興条例に基づき新商品や新技術の開発に対する助成を行っているほか、八戸インテリジェントプラザへの委託事業によりコーディネーターの派遣や大学や公設研究機関と連携して行う共同研究開発に対する補助金の交付等を行っており、これらの事業は今後も継続していく予定であります。</li> </ul> <p>(産業労政課)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 産業団地の整備につきましては、令和元年度より用地買収を進めておりますが、地権者の皆様の協力により大部分を取得しております。また、今年度から工事にも着手しており、令和 6 年度中の分譲を目指し着実に本事業を推進して参ります。</li> </ul>	
18	<p><b>資料 7 復興施策の総括 : P11(3) 企業活動の再興</b> <b>意見・質問</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新しい産業団地の完成を見据えて、企業誘致活動を強化する必要があると思います。新たな施策や取組などはありますか。</li> </ul> <p><b>【回答欄】</b> (産業労政課)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 北インター第二工業団地については、今年 7 月に実施設計概要を公表して以降、現在は市の HP や 10 月開設の産業立地オンラインフェア HP で情報発信を行うなど、周知・PR を開始したところであります。今後は、造成事業の進捗にあわせながら、新たな施策等を含め企業誘致活動の強化について検討して参ります。</li> </ul>	

No.	内 容	備 考
19	<p data-bbox="225 181 820 215"><b>資料 7 復興施策の総括 : P11 (3) 企業活動の再興</b></p> <p data-bbox="225 226 288 259"><b>意見</b></p> <ul data-bbox="225 271 1299 383" style="list-style-type: none"> <li>・ 令和 3 年度以降、八戸市は国の復興特区の対象地域から外れるとのことですが、設備投資の促進や雇用の維持のためにも、あおり生業づくり復興特区による規制の特例や税制上の特例と同様の施策の継続を要望します。</li> </ul> <p data-bbox="225 394 352 427"><b>【回答欄】</b></p> <p data-bbox="225 439 344 472">(商工課)</p> <ul data-bbox="225 483 1299 640" style="list-style-type: none"> <li>・ 設備投資の促進につきましては、生産性向上特別措置法に基づき、労働生産性を一定程度向上させるため、先端設備等を導入する計画を策定し認定を受けた事業者に対し 3 年間の固定資産税課税免除を特例期間である令和 4 年度末まで実施して参ります。</li> </ul> <p data-bbox="225 651 408 685">(産業労政課)</p> <ul data-bbox="225 696 1299 853" style="list-style-type: none"> <li>・ 当市では、復興特区法に基づき、市で定める条例により工場立地法で定める緑地面積率及び環境施設面積率に関する規制を緩和しておりますが、当該規制の緩和措置につきましては、復興特区法が存続する限り、継続できるものと関係機関から伺っております。</li> </ul>	
20	<p data-bbox="225 864 783 898"><b>資料 8 復興施策シート : P66 参考指標の動向</b></p> <p data-bbox="225 909 288 943"><b>質問</b></p> <ul data-bbox="225 954 1299 1066" style="list-style-type: none"> <li>・ 「八戸市内ホテル宿泊客数調べ」で観光客が平成 22 年の 4.6 万人から、令和元年では 14.5 万人と 3 倍に増えていますが、種々の観光活性化策の成果が現れているとみて宜しいでしょうか。</li> </ul> <p data-bbox="225 1077 352 1111"><b>【回答欄】</b></p> <p data-bbox="225 1122 344 1155">(観光課)</p> <ul data-bbox="225 1167 1299 1491" style="list-style-type: none"> <li>・ 観光客増加の要因としては、東北・北海道新幹線の新函館北斗駅開業や種差海岸の三陸復興国立公園指定、八戸三社大祭のユネスコ無形文化遺産登録といった全国からの誘客促進に繋がるようなトピックが相次いだことや、館鼻岸壁朝市や横丁などがメディアで度々取り上げられたことで、当市の認知度がアップしたこと等が考えられます。</li> <li>・ なお、ご質問の観光客数については、同じ期間の宿泊者総数の増加率が+17%に留まっていることから、旅行スタイルの変化や集計方法等、複合的な要因によるものと考えております。</li> </ul>	

No.	内 容	備 考
21	<p data-bbox="183 181 895 215"><b>資料 7 復興施策の総括 : P11(4) 観光・サービス業の再興</b></p> <p data-bbox="183 226 248 259"><b>意見</b></p> <ul data-bbox="193 271 1259 383" style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い実現には困難が伴うと思いますが、八戸三社大祭に代表される地域の魅力を発信できる取組を推進し、観光産業の振興に向けたインバウンド対策の強化及び受入体制の整備をお願いします。</li> </ul> <p data-bbox="199 394 316 427"><b>【回答欄】</b></p> <p data-bbox="199 439 312 472">(観光課)</p> <ul data-bbox="193 483 1259 853" style="list-style-type: none"> <li>・八戸圏域への観光誘客を担う(一財)VISIT はちのへでは、マーケティングに基づき、戦略的なプロモーションを展開することとしており、デジタル技術を活用し、さまざまな事業を展開しております。また、昨年度には三社大祭やえんぶりの時期に合わせて、圏域の周遊を促す取り組みなども並行して実施するなど、時期を捉えた効果的な事業展開を図っております。今年度はコロナ禍ではあるものの、SNS 等による情報配信のほか、インバウンド対策においては、メインターゲットとする欧米豪の現地メディアに対する情報提供を継続しているほか、現在は圏域の産品やコンテンツをウェブ上で注文・精算できるポータルサイトの構築に取り組むなど、アフターコロナを見据えた誘客促進と受入体制の強化にも努めております。</li> </ul>	
22	<p data-bbox="183 864 895 898"><b>資料 7 復興施策の総括 : P11(4) 観光・サービス業の再興</b></p> <p data-bbox="183 909 248 943"><b>意見</b></p> <ul data-bbox="193 954 1259 1021" style="list-style-type: none"> <li>・観光地で購入できるお土産の種類が少なく販売所やスペースも限られている。地域産業の発展と観光地 PR のため、お土産品の開発を進める必要がある。</li> </ul> <p data-bbox="199 1032 316 1066"><b>【回答欄】</b></p> <p data-bbox="199 1077 312 1111">(観光課)</p> <ul data-bbox="193 1122 1259 1494" style="list-style-type: none"> <li>・市内で土産品を購入できる主な施設は、八食センターやユートリーなどの民間施設をはじめ、はっちや種差海岸にある各公共施設のほか、八戸駅などの交通拠点となっております。このうち公共施設については、施設の目的や規模の関係で、十分な販売スペースを確保できていないものの、八食センターやユートリーについては、商品の種類や販売スペースなども十分に確保されているものと認識しております。</li> <li>・今後は、更なる情報発信により、これら民間施設への来訪を促すとともに、土産品の開発については、商工会議所や(一財)VISIT はちのへを通じて、頂いたご意見を各事業者にお届けすることで、品質はもとより、パッケージのサイズやデザインなど、総合的な品質向上に向けた商品開発を促して参ります。</li> </ul>	



No.	内 容	備 考
23	<p data-bbox="225 181 932 215"><b>資料7 復興施策の総括：P11(4) 観光・サービス業の再興</b></p> <p data-bbox="225 226 288 259"><b>意見</b></p> <ul data-bbox="225 271 1299 383" style="list-style-type: none"> <li>・「みちのく潮風トレイル」について、蕪島(マリエントの山側近辺)から葦毛崎までは道路が狭く歩道もないことから、ゆったり歩ける状況ではありません。新たな遊歩道などを整備する必要があると思います。</li> </ul> <p data-bbox="225 394 352 427"><b>【回答欄】</b></p> <p data-bbox="225 439 344 472">(観光課)</p> <ul data-bbox="225 483 1299 808" style="list-style-type: none"> <li>・「みちのく潮風トレイル」は、蕪島を起点とした場合、マリエント下を通り、西宮神社前～恵比須浜漁港～小舟渡の順に海岸沿いを通過した後、鮫角より県道である主要地方道八戸階上線へ上がり、そのまま鮫角灯台下の道路沿いを葦毛崎展望台へと進んで参ります。</li> <li>・このうち、主要地方道八戸階上線の鮫角灯台下から、葦毛崎展望台までの区間については、道路が特に狭隘であることから、市としましても道路を所管する青森県へ拡幅、歩道設置等により、遊歩道としての安全性の確保について要望しているところであります。</li> </ul>	
24	<p data-bbox="225 819 932 853"><b>資料7 復興施策の総括：P11(4) 観光・サービス業の再興</b></p> <p data-bbox="225 864 368 898"><b>意見・質問</b></p> <ul data-bbox="225 909 1299 1155" style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルスによりインバウンドが減少し、大きな経済的ダメージを受けています。インバウンドのみを対象とした事業のリスクは大きく、これからは日本人・外国人のそれぞれを対象とした事業によってリスクを分散し、事業者が量から質への転換や、直接顧客とのつながりを持つ顧客展開などのアフターコロナ対策を打ち出していくことが必要と思いますが、コロナ禍での事業展開等についての支援策や相談機関等がありますでしょうか。</li> </ul> <p data-bbox="225 1167 352 1200"><b>【回答欄】</b></p> <p data-bbox="225 1211 344 1245">(商工課)</p> <ul data-bbox="225 1256 1299 1447" style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルスの感染拡大により大きな影響を受けた事業者の相談先につきましては、21あおもり産業総合支援センターやよろず支援拠点、商工会議所や商工会が随時無料で相談対応を行っております。加えて、八戸商工会議所の主催により、11月と12月の2回、経営に関する相談や各種融資制度・補助金の申請方法などに関する特別相談会を開催することとなっております。</li> </ul>	

No.	内 容	備 考
25	<b>資料 7 復興施策の総括 : P11 (5) 風評被害の防止</b> <b>意見</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで、定期的な放射性物質の測定調査と積極的な情報発信を継続的に行っており、安全な状態にあるものと認識しています。市民の安心感を持ち続けるためにも継続していただきたい。</li> </ul>	
	<b>【回答欄】</b> (環境保全課) <ul style="list-style-type: none"> <li>・東日本大震災以降実施してきた水浴場の放射性物質濃度等の調査は、10年間継続して安全を確認できたことから、令和2年度をもって測定を終了することとしました。</li> <li>・なお、市庁敷地内放射線モニタリングは継続して実施して参ります。</li> </ul> (水産事務所) <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでと同様に継続して参ります。</li> </ul> (農業経営振興センター) <ul style="list-style-type: none"> <li>・青森県においては、平成23年7月から継続して、県産農林水産物の放射性物質モニタリング調査を実施しております。その結果については、市HP及びコミュニティラジオ局 BeFM の番組内でお知らせしており、引き続き情報発信に努めて参ります。</li> </ul>	

### 3. 都市基盤の再建

No.	内 容	備 考
26	<b>質問</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中心街は一方通行や道幅の狭い箇所が多くあるため、車両及び歩行者の安全確保が必要と感じています。電線地中化の計画と進捗状況を教えてください。</li> </ul>	第3回委員会で審議予定
	<b>【回答欄】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> </ul>	
27	<b>質問</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・沼館の津波防災センターを見学した際、想定される津波浸水が6.96メートルと伺いました。新大橋は馬淵川と八戸港が近い為に逆流の恐れを感じています。現在建設中の新大橋の津波浸水想定を教えてください。</li> </ul>	第3回委員会で審議予定
	<b>【回答欄】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> </ul>	
28	<b>意見・質問</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・避難路となる歩道の整備においては、身障者（車いす）通行の安全確保も考慮してほしい。</li> <li>・また、避難路に限らず自転車用道路の整備の予定はないでしょうか。交通安全上、歩道と自転車通路が必要かと思われます。</li> </ul>	第3回委員会で審議予定
	<b>【回答欄】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> </ul>	

#### 4. 防災力の強化

No.	内 容	備 考
29	<p><b>意見</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害ボランティア派遣による被災者支援がスムーズに行われるためには、災害ボランティアセンター、避難所、災害本部等の円滑なコミュニケーションと情報共有が必要である。初期段階の被災者支援のためにも、チームとして連携を図る必要がある。</li> </ul> <p><b>【回答欄】</b></p> <p>・</p>	第3回委員会で審議予定
30	<p><b>意見</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・避難所運営において、感染症予防対策をとるとともに、そのことにより避難者が避難所に入れないということがないように、対策を講じておく必要がある。</li> </ul> <p><b>【回答欄】</b></p> <p>・</p>	第3回委員会で審議予定
31	<p><b>意見</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人就労者が不利益を被らないよう、災害時に備えた支援を整えておく必要がある。また、関係各所の協力を得ながら、多言語による事前の防災教育を行う必要がある。</li> </ul> <p><b>【回答欄】</b></p> <p>・</p>	第3回委員会で審議予定